

より安全な登校のために

「私の毎朝の行動は正しいのかな。」

ふと、自分に問いかけました。

私は毎朝、集団登校をしています。今年になって、通学路の歩道整備が終わり、歩道が広くなって、ガードレールもつけられました。それまでの歩道は二人ならぶのがいっぱい、車道までのきよりも近く、通学時間はたくさん車やバイクも通るので、「スピード早くて怖い。」と思ったり、車が急に出てきてびっくりすることがよくありました。でも、歩道整備がされたことで、少し車とのきよりができたように思い、以前より危険ではないように感じるようになりました。

私のお母さんは、毎日私の通学路の横の道路を走って通勤しています。登校中の子どもがいるので、スピードを出さないように、横断歩道は子ども達が安全にわたれるようにとても注意して運転をしているそうです。そんなお母さんは、

「良かったね。誰かが危ないからガードレールをつけてって言ってくれたのかな。登校中の子ども達に車がつつこんでしまった死亡事故もあるし。」

と安心した様子で言いました。調べてみて、過去五年間で約九百人が登下校中に事故で死亡したり、大けがをしていると知りました。過去十年間に十件以上の、車が子どもにつつこんでしまったという悲しい事故も知りました。子どもの事故の三分の一が登下校中で、特に下校中が多いと知りました。私の集団登校では、地域の見守り隊の人達が学校まで一緒に行ってくれて、番号も安全にわたらせてくれます。見守り隊の人達がいてくれるので登校中の事故が下校中に比べ少ないのではないのかと思います、見守り隊の人達に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私は、集団登校が好きです。理由は、友達とわいわい楽しく話をしながら行けるからです。私は、登下校中の事故で多くの子どもが死んでいると知って、「私の毎朝の行動は正しいのかな。」と自分に問いかけました。車の危険から私達を守るためにガードレールをつけたり、歩道を広くしてくれました。でも、自分自身も気を付けなければなり

ません。友達と話をしていたら、話に夢中になって見守り隊の人が「危ないよ」と言ってくれても気付かないかもしれないし、他の子が危険な時、気付かないかもしれません。集団登校は、みんなで注意して安全を確保するためだと思います。そのために、自分に出来ることは意識して取り組みたいと思います。登校中は会話をせずに、周りに注意をはらったり、車から見えやすいように手を挙げて横断歩道をわたって、自分の命を守りたいと思います。また、高学年として低学年を守る存在になりたいです。危ない場所を歩いていたら「そこくだから危ないよ。」と注意がけをしたり、地域の人の話をきいていなかったら、代わりに伝えようと思います。私の行動一つ一つが自分や、だれかの身を守ることに良いです。